

第4学年国語科学習指導案

令和2年7月16日(木)

- 1 単元名 4年生を紹介する『日めくりカレンダー』を作ろう
教材名「ことわざと故事成語」(東京書籍 4年上)

2 単元の目標

- ことわざや故事成語を集めて意味を調べ、使われる場面を考えて短い文章を書くことができる。 [知識及び技能]
- 共通点や相違点に着目し比較したり分類したりしながら、紹介したいエピソードに合ったことわざや故事成語を選び、伝えたいこと(教訓)が正しく伝わるようなエピソード紹介文の書き方を考えることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等]
- 言葉が持つよさに気づくとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 [学びに向かう力, 人間性等]

3 図書館活用教育で身に付けたい力

- 図書資料から必要な情報を取り出し、適切に活用することができる。 【情報リテラシー】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことわざや故事成語を集めて意味を調べ、使われる場面を考えて短い文章を書いている。	共通点や相違点に着目し比較したり分類したりしながら、紹介したいエピソードに合ったことわざや故事成語を選び、伝えたいこと(教訓)が正しく伝わるようなエピソード紹介文の書き方を考えている。	ことわざや故事成語について、学習課題に沿って積極的に意味や使い方を理解し、エピソード紹介文を書こうとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領における〔知識及び技能〕の(3)我が国の言語文化に関する事項イ「長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。」、また、〔思考力、判断力、表現力等〕の「B 書くこと」(1)に関する指導事項ア「相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。」を取り上げて学習を展開する。目的を意識しながらことわざや故事成語を集めたり、集めたことわざや故事成語の比較を通して、伝えたいこと(教訓)を明確にしたりしながら、その意味が正しく伝わるような文章を書くことを目標としている。

ことわざや故事成語とは、昔の人の生活経験や古くから伝わる書物などから生み出され、今

に伝えられてきた知恵や教訓，知識を含んだ言葉である。簡潔で，真理を巧みに言い表しているものも多いため，現代においても多くの人々に使われており，児童も見聞きする機会があると考えられる。なお，本単元では，内容が理解しやすく興味や関心をもちやすいことわざを重点的に扱う。

自分達や担任のエピソード紹介文を作るときには，エピソードの内容に合ったことわざや故事成語を見つけるために関連図書を活用することで，多くのことわざや故事成語に出会うことができる。さらに，ことわざや故事成語の意味の読み取りを通して語彙を増やしたり，様々な情報を獲得したりすることもでき，これまで以上に言葉に興味や関心をもつきっかけになり得る教材であるといえる。

(2) 児童観 ※省略

(3) 指導観

本単元では，目的を意識しながらことわざや故事成語を集めたり，集めたことわざや故事成語の比較を通して，伝えたいこと（教訓）を明確にしたりしながら，その意味が正しく伝わるような文章を書くことを目標としている。そこで，「4年生を紹介する『日めくりカレンダー』を作ろう」という単元を設定した。

ことわざや故事成語を使うときには，周りの人の気持ちを考えて使うという言語感覚も大切にしたい。その部分を配慮し，事前に募集したイメージやエピソードをもとに，まずは担任を題材にエピソード紹介文を書くようにしている。この活動を通して，どのようなエピソードなら周りの人を傷つけないかということを考える機会にしたい。

以下，本校の研究仮説に従って進めていく。

①課題設定の工夫：主体的に活動できるゴールの設定

本単元では，ことわざや故事成語を使って自分達のエピソードを紹介する『日めくりカレンダー』を作り，全校に向けて4年生を紹介するということを学習のゴールとして設定する。児童にとってことわざや故事成語を扱うことは初めてになるので，自分達を題材とすることで抵抗感なく学習を進められるようにしたい。

まず，紹介したい自分や担任のエピソードを決める。ここでは，たくさんのエピソードの中から全校のみんなに紹介したいという観点でエピソードを選ぶようにする。

次に，紹介したいエピソードに使えることわざや故事成語を複数集め，比較を通して紹介したいエピソードに合うことわざや故事成語を選んでいく。

そして最後に，ことわざや故事成語を使って伝えたいこと（教訓）が正しく伝わるようにエピソード紹介文を書き，日にちやエピソードに合うイラストを添えて『日めくりカレンダー』を完成させる。

『日めくりカレンダー』は，児童会活動の学年発表の場で紹介して終わりではなく，その後実際に各学級で使ってもらえるようなものにしたいという願いをもつことで，エピソードにぴったり合うことわざや故事成語を見つけようとよりたくさんのことわざや故事成語を調べたり，自分が紹介したいエピソードのよさやエピソードを通して伝えたいこと（教訓）が正しく伝わるように必要感をもって友達と思いや考えを伝え合ったりすることができると思う。

②学習過程の工夫：学校図書館の利用

本単元では，エピソード紹介文を作るために様々なことわざや故事成語の意味を知る必要がある。そこで，学校司書や司書教諭の協力のもと児童一人一人に十分な図書資料を用意し，並行読書を行いながらできるだけたくさんのことわざや故事成語に触れる機会を設定する。図書資料は，ことわざや故事成語の意味に加えて使い方についても書かれているものを選定

することで、単に辞書的な意味を知るだけではなく、相手や場面、状況に合わせた適切な使い方を理解できるようにしたい。

調べたことわざや故事成語は、情報活用カード（ことわざ・故事成語カード）にまとめるようにし、図書資料には付箋を付けておくようにする。また、ことわざや故事成語を集めるのに使ったものとは別の図書資料にも、エピソードに使えるようなことわざや故事成語について書かれているページには付箋を付けておくように促すことで、エピソードにぴったり合うことわざや故事成語を選ぶ際に、多様な資料にあたり多面的に意味を捉えた上で比較できるようにしたい。

様々な図書資料に触れることで、ことわざや故事成語を知ること以外にも、意味の読み取りを通して語彙を増やしたり、類語の意味の書きぶりの違いに目を向けることで言葉にこだわったりできる機会にしたいと考えている。

③伝え合う場の工夫：伝え合う視点の明確化

これまでの児童の実態から、お互いに出来上がったものに対してアドバイスをし合うことは難しいと考える。そこで、本単元では伝え合う視点を明確にして、早い段階からペアによる伝え合いを取り入れるようにしたい。

エピソードを決める際には、学級紹介の『日めくりカレンダー』ということ念頭に、他の学年の児童に紹介したいエピソードかどうかという視点や後からエピソード紹介文を書くときに詳しく書けそうなエピソードを選ぶことができるように「5W1H」の視点をもたせるようにする。

ことわざや故事成語を選ぶ際には、紹介したいエピソードにぴったり合うかどうかという視点で、集めたことわざや故事成語の相違点を比較し、伝えたいこと（教訓）を明確にすることができるようにしたい。「ぴったり合う」ということを突き詰めていくことで、類語の意味の微妙な違いに気付いたり、一つ一つの言葉を自分なりに解釈したりするなど、言葉にこだわりをもつような児童の育成も期待できる。

エピソード紹介文を書く際には、伝えたいこと（教訓）が明確になっているかや「5W1H」を使ってエピソードを詳しく書けているかという視点で確認し合いながら書いていくようにする。

本時は、これまでに集めてきたことわざの中から、担任のエピソードに合うことわざをペアで選んでいく活動を行う。前時までにエピソードに使えるようなことわざを整理しているため、選択肢に残っていることわざのそれぞれの意味は似通っていることが予想される。また、児童はどのことわざを使っても何となくエピソード紹介文が書けそうだという思いをもっていることも予想される。そこで、単元に入る前から担任のエピソードをたくさん集めてきた中で、今回紹介するエピソードに決めた理由に触れることで、その理由が全校のみんなにも伝わるように、ことわざにもこだわって選びたいという思いが引き出せるようにしたい。

ことわざを選ぶ活動の前に、まず教師作成のエピソード紹介文と使ったことわざの意味をもとに、「エピソードにぴったり」とはどういうことかについて全体で確認するようにする。そして、エピソードに合うことわざを選ぶためには、ことわざの意味を比較する必要があるということに児童自身が気付けるようにしたい。

ペアでことわざを比較していく際には、担任のエピソードやエピソードに使えるようなことわざ、その意味が整理されている前時のワークシートを用いる。ことわざの意味の相違点に線を引いていくことで言葉の違いを捉え、その言葉どうしを比較していくことで、最終的に選んだことわざが他のことわざよりも紹介したいエピソードに合っているという根拠を見つけるこ

とができると考える。

選んだことわざは、担任のエピソードと併せて全体で発表をする。発表の後には、エピソードのどの部分がことわざの意味のどこに対応しているかを説明するようにさせることで、選んだことわざがエピソードに合っているかどうかを学級全体で確かめられるようにしたい。

6 単元の指導と評価の計画（全5時間）

次	時	目 標	主な学習活動	指導上の留意点（・） 教師の支援（◎担任 ◆学校司書）	【評価規準】 ・評価方法
一	1	<p>学習の見通しを立て、ことわざや故事成語について知ることができる。</p>	<p>・ことわざや故事成語について知る。</p> <p>・学習の見通しを立て、ゴールを確認する。</p>	<p>◆ことわざや故事成語の関連図書を準備し、紹介する。</p> <p>・ことわざと故事成語について簡潔に押さえる。</p> <p>ことわざ…生活に役立つ知恵や教えなどを含んだ短い言葉。</p> <p>故事成語…昔の話（主に中国の話）が基になってできた言葉。</p>	<p>【主】</p> <p>・行動観察</p> <p>・ノート分析</p>
		<p>学習の見通し</p> <p>① 担任と自分のエピソードを決める。</p> <p>② エピソードで使えそうなことわざを集める。</p> <p>③ エピソードに合うことわざを選ぶ。</p> <p>④ ことわざを使い、担任と自分のエピソード紹介文を作る。</p> <p>⑤ エピソード紹介文とオリジナルことわざで4年生を紹介する「日めくりカレンダー」を作る。</p> <p>※自分の紹介文は故事成語でもよい。</p> <p>ゴール</p> <p>・学年発表でことわざ（故事成語）を使って4年生紹介をする。（児童会活動）</p> <p>・4年生紹介の内容をまとめた「日めくりカレンダー」を各学級に配付する。</p>	<p>ことわざや故事成語の関連図書を並行読書</p> <p>↓</p> <p>ことわざと故事成語を集める</p>	<p>実物の「日めくりカレンダー」と教師作成のことわざを使ったエピソード紹介文、オリジナルことわざを紹介し、学習のゴールの具体的なイメージをもたせることで、学習への意欲を高め、主体的に活動に取り組めるようにする。</p> <p>◎書き込み式ワークシートを準備する。</p> <p>・「5W1H」の視点をもたせることで、後から紹介文を書くときに詳しく書けそうなエピソードを選ぶことができるようにする。</p>	
二	2	<p>エピソード紹介文を作ることを意識しながら、エピソードに使えそうなことわざを集めることができる。</p>	<p>・図書資料を活用してことわざを調べ、意味を「ことわざカード」に書く。</p> <p>・「ことわざカード」を分類し、第3時で紹介した</p>	<p>◎意味を書く「ことわざカード」を準備する。</p> <p>おもしろいと感じることわざ、担任や自分の紹介で使えそうなことわざについて意味を調べ、「ことわざカード」に書かせる。</p> <p>◎書き込み式ワークシートを準備する。</p> <p>・使えそうなことわざが1つしか見つからなかったペアには、類</p>	<p>【知】</p> <p>・行動観察</p> <p>・カード分析</p> <p>・ワークシート分析</p>

		い担任のエピソードに 見えそうなことわざと その意味をワークシ ートに整理する。	語に着目させたり、エピソード について解釈を加えたりして、 複数見つけられるようにする。	
3 本 時	集めたことわざ の比較を通し て、伝えたいこ と（教訓）を明 確にすることが できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで担任のエピソードに合うことわざを選ぶ。 ・選んだことわざと担任のエピソードを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎本時までには調べたものとは別の図書資料も参考にできるように準備しておく。 ・多様な考えのもと吟味できるように、ペア学習の形を取る。 ・前時のワークシートをもとに、複数のことわざの意味を比較させることで、紹介したいエピソードに合うことわざを選べるようにする。 ・ことわざを選んだ根拠を説明させることで、聞き手もそのことわざの伝えたいこと（教訓）に気付けるようにする。 	【思】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析
4	ことわざ（故事成語）を使っ て、伝えたいこ と（教訓）が正 しく伝わるよう なエピソード紹 介文を書くこと ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで担任のエピソード紹介文を書く。 ・ペアでオリジナルことわざを作る。 ・紹介したい自分のエピソードに見えそうなことわざ（故事成語）とその意味をワークシートに整理する。 ・エピソードに合うことわざ（故事成語）を選ぶ。 ・エピソード紹介文を書く。 ・オリジナルことわざ（故事成語）を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎書き込み式ワークシートを準備する。（担任紹介・自分紹介用） ・文章がなかなか書けないペアには、「5W1H」の内容を組み合わせたり、並び替えたりしていくように伝える。 ・担任のエピソード紹介文と同じ要領でしていくことを伝える。 ・故事成語で作ってみたい場合はそれも認める。 ・人を傷つける内容にしないというのを押さえる。 ・オリジナルことわざ（故事成語）の文言にはそこまでこだわらなくてもよいことを伝える。 	【知】【思】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析
三 5	「日めくりカレ ンダー」を作り、 学習したことを ふり返ることが できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「日めくりカレンダー」を作る。 表…紹介文とオリジナルことわざ（故事成語） 裏…使ったことわざ（故事 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの表側には日にちとエピソードに合ったイラストを入れて仕上げとする。 	【主】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート分析

		成語) とその意味 ・学習をふり返る。	・単元全体をふり返らせる。
児童会 活動	・学年発表でことわざ(故事成語)を使って4年生紹介をする。 ・各学級に「日めくりカレンダー」を配付する。		

7 本時の学習

(1) 目標

○集めたことわざの比較を通して、伝えたいこと(教訓)を明確にすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 展開(3/5時間)

時	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点(・)と支援(◎)
10	<p>1 前時の学習をふり返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 学習のめあて 2 ことわざを選ぶ。(ペア) 3 選んだことわざと担任のエピソードを発表する。 4 ふり返り</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて 紹介したいエピソードにぴったりのことわざを選ぼう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『教師作成のエピソード紹介文(完成版)』 先生と校庭で鬼ごっこをした時、鬼の先生は○さんと×さんを鉄棒のところに追い詰めた。欲張った先生は二人を一度に捕まえようとしたが、見事にかわされどちらにも逃げられていた。「双子を追う先生は○さんをも捕まえられず」だ。</p> <p>【ことわざ】 【ことわざ①】二兎を追う者は一兎をも得ず 【意味】一度に二つのことをしようとする と、どちらもうまくいかないから、欲張ってはいけない。 (三省堂 こどもことわざじてん)</p> </div>	<p>◎学習の見通しが立てられるように、学習の流れを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのエピソードの中から紹介したい担任のエピソードを決めた理由に触れることで、その理由がしっかりと伝わるようにことわざを選びたいという思いを引き出し、本時のめあてにつなげられるようにする。 ・教師作成のエピソード紹介文と使ったことわざの意味をもとに、「エピソードにぴったり」とはどういうことか全体で確認をする。 ・めあてを達成するためには、集めたことわざの意味を比べる必要があることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ことわざ①】二兎を追う者は一兎をも得ず 一度に二つの<u>こと</u>をしようとすると、どちらもうまくいかないから、欲張ってはいけない。</p> <p>【ことわざ②】あぶはち取らず 二つの<u>もの</u>を同時に得ようとして、結局どちらも得られない。欲張りすぎては上手くいかない。 (三省堂 こどもことわざじてん)</p> </div>
20	<p>2 ことわざを選ぶ。(ペア)</p> <p>○紹介したい担任のエピソードに使えるようなことわざの意味を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味の違うところに線を引いてみたらどっちがエピソードにぴったりか分かりそうだね。 ・<u>猫に小判</u>と<u>豚に真珠</u>は意味が似ているけ 	<p>◎本時までには調べたものとは別の図書資料も参考にできるように準備しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えのもと吟味できるように、ペア学習の形を取る。 ・前時のワークシートをもとに、複数のことわざの意味を比較させることで、紹介したいエピソードに合うことわざを選べるようにする。

13	<p>れど、「どうでもいいものだ」と「何の役にも立たない」の部分が少し違うよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猿も木から落ちると河童の川流れは書いてある意味が変わらないね。別の本で、もう一度意味を調べてみよう。 <p>○紹介したい担任のエピソードに合うことわざを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生にとって○○は本当に役に立っていなかったから、自分達が紹介したいエピソードにぴったりのことわざは豚に真珠だ。 <p>3 選んだことわざと担任のエピソードを発表する。</p> <div data-bbox="159 784 790 1344" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『榎原先生のエピソード』</p> <p>先生は、学校からマスクの代わりに使った。フェイスマスクを着け続けている。先生は結局普通のマスクを着け続けている。先生は結局普通のマスクを着け続けている。先生は結局普通のマスクを着け続けている。</p> <p>（三省堂 こどもことわざじてん）</p> <p>【意味】どんなに価値のある物でも、それがわからない人にとっては、何の役にも立たない。</p> <p>【選んだことわざ】豚に真珠</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・価値がある物も、わからない人には「何の役にも立たない」という部分が、豚に真珠の伝えたいことなんだ。 <p>2 4 学習をふり返る。</p>	<div data-bbox="821 112 1476 313" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価の観点【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>★集めたことわざの比較を通して、紹介したいエピソードに合うことわざを選んでいる。（行動観察・ワークシート分析）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・細かい部分だったとしても、何かしらの根拠をもとにことわざを選ぶように伝える。 ・根拠をもとにことわざを選んだ後、再度エピソードに目を向けさせることで、ことわざの伝えたいこと（教訓）が明確に感じられるようにする。 <p>◎視覚機器の環境を事前に整えておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだことわざとその意味、担任のエピソードを実物投影機で拡大して映すことで、視覚的に分かりやすい発表になるようにする。 ・発表の後には、エピソードのどの部分がことわざの意味のどこに対応しているかを説明させることで、選んだことわざがエピソードに合っているかどうかを学級全体で確かめられるようにする。 <table border="1" data-bbox="813 1108 1492 1344"> <thead> <tr> <th>担任のエピソード</th> <th>ことわざの意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フェイスシールドは息がしやすくても耳も痛くならない</td> <td>価値のある物</td> </tr> <tr> <td>先生</td> <td>それがわからない人</td> </tr> <tr> <td>マスクしか使っていない</td> <td>何の役にも立たない</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ことわざを選んだ根拠を補足説明させることで、聞き手もそのことわざの伝えたいこと（教訓）に気付けるようにする。 ・どのようにことわざを選んだのかについて振り返らせる。 	担任のエピソード	ことわざの意味	フェイスシールドは息がしやすくても耳も痛くならない	価値のある物	先生	それがわからない人	マスクしか使っていない	何の役にも立たない
担任のエピソード	ことわざの意味									
フェイスシールドは息がしやすくても耳も痛くならない	価値のある物									
先生	それがわからない人									
マスクしか使っていない	何の役にも立たない									

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
集めたことわざの比較を通して、紹介したいエピソードに一番合うことわざを選び、伝えたいこと（教訓）を明確にしている。	集めたことわざの比較を通して、伝えたいこと（教訓）を明確にしている。	ことわざの比較ができない。 ⇒ことわざの意味の相違点を一緒に線を引いて確認し、それらを比較しながらエピソードの内容に合うものを見つけていくようにする。

(4) 研究の視点

集めたことわざの比較を通して話し合う活動を行ったことは、児童が言葉にこだわりをもつ上で効果的であったか。

8 研究協議の概要

参加者	校内 15 名、校外 13 名 計 28 名
授業及び研究協議の概要	<p>〈授業の概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材は「ことわざと故事成語」（東京書籍 4年上）で、本時は全5時間の3時間目である。 ・1時間目で学習の見通し（担任と自分のエピソードにあうことわざを集め、エピソード紹介文を作ったり、オリジナルことわざを作ったりする。「日めくりカレンダー」を作り、全校児童に発表する。）を立て、ことわざと故事成語を学んだ。2時間目にはエピソード紹介文を作ることを意識しながら、エピソードに使えそうなことわざを集め、3時間目には、集めたことわざの比較を通して、伝えたいこと（教訓）を明確にした。そして4時間目には、ことわざ（故事成語）を使って伝えたいこと（教訓）が正しく伝わるようなエピソード紹介文を書いた。5時間目には「日めくりカレンダー」を作った。 ・単元を通してことわざと故事成語の本や資料を並行読書で読んでおいた。 ・単元の目標は「ことわざや故事成語を集めて意味を調べ、使われる場面を考えて短い文章を書くことができる。（知識及び技能）」「共通点や相違点に着目し比較したり分類したりしながら、紹介したいエピソードに合ったことわざや故事成語を選び、伝えたいこと（教訓）が正しく伝わるようなエピソード紹介文の書き方を考えることができる。（思考力、判断力、表現力等）」「ことわざや故事成語について、学習課題に沿って積極的に意味や使い方を理解し、使おうとすることができる。（主体的に学習に取り組む態度）」と設定した。 ・図書館活用教育で身に付けたい力としては「図書資料から必要な情報を取り出し、適切に活用することができる」と設定した。 <p>〈協議〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生はモチベーションを引き出すための仕掛けがおもしろかった。学級経営がうまく機能していた。エピソードとぴったりのことわざ、故事成語を探すという学習のねらいがうまくはまり、児童の意欲に繋がっていた。 ・ぴったり合うことわざとしてのモデルの提示も児童の理解が進む支援として良かった。 ・図書館ルブリックの使用もおもしろい取組であった。 ・話し合いの際にペアにしたことで自分事として主体的に取り組んでいた。単元終末の児童集会での日めくりカレンダー紹介も面白い取組で、児童にとっては担任の楽しいエピソードを紹介したいという主体的な学びとなっていた。学習に対しても必要感をもって友達と思いや考えを伝え合っていた。また、学校司書や司書教諭の協力のもと、児童一人一人に十分な図書資料を用意することができていた。 ・調べたことわざや故事成語は、情報活用カード（ことわざ・故事成語カード）にまとめるようにし、図書資料には付箋を付けていった。そうした工夫で、ことわざや故事成語の読み取りや比較読み、語彙の獲得と類語の発見など重要な学びが自然に積み上がっていった。